平成25年１月31日発行

おうらまち
議会だより

長柄幼稚園の新春もちつき

平成24年12月定例会

平成24年度補正予算可決（一般会計・各特別会計）
一般質問　【８人の議員が町の考えを問う】
［岩﨑律夫議員、神谷長平議員、小島幸典議員、坂井孝次議員
原　義裕議員、本間恵治議員、大野貞夫議員、小沢泰治議員］

■可決された議案……………………… ３
■一般質問……………………………… ４～11
■わたしのふるさと等………… 11～12

No134

群馬県邑楽町議会 URL http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai　E-mail gikai@swan.town.ora.gunma.jp

安全に安心して暮らせる町づくりを目指し

年頭のあいさつ

議長　立沢稔夫

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。

さて昨年を振り返りますと、依然として東日本大震災の傷跡は深く、多くの被災者が仮設住宅生活を余儀なくされています。一日も早く、元の生活に戻れますよう願っています。

そんな中、東京スカイツリーの開業という明るい話題もありました。６３４ﾒｰﾄﾙ、展望台からの眺望は、私達の心を癒してくれています。

国政に目を向けますと、衆議院の解散・総選挙が行われ、政権与党民主党は惨敗し、圧勝した自民党が政権を奪還しました。経済の立て直しを選挙公約に掲げ、過半数を獲得しましたが、無効投票の増加や投票率の低下と政治不信は拭えていません。自公政権発足後、株価上昇や円高が見られますが、外交問題やＴＰＰの取り扱いと前途には多くの難題が待ち構えております。

町も景気低迷の中、税収減から厳しい財政運営が続いています。活気あふれる町を取り戻すため、自主財源創出事業への取り組みが必要です。

町民が安全に安心して暮らせる町づくりを目指し、議会の使命を果たしていきます。

本年もご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

議長　立沢稔夫
副議長　岩﨑律夫

総務教育常任委員会

委員長　田部井健二
副委員長　大野貞夫
委員　細谷博之
〃　小沢泰治
〃　原義裕
〃　塩井早苗

産業福祉常任委員会

委員長　小島幸典
副委員長　坂井孝次
委員　本間恵治
〃　岩﨑律夫
〃　半田晴
〃　神谷長平
〃　松村潤

可決された議案

【条例・規則の改正】

邑楽町町営住宅管理条例の改正

石打町営住宅の建て替えに伴い、共用部分の保守点検等維持管理に要する共益費を入居者より徴収するため改正しました。

邑楽町地域し尿処理施設の設置及び管理に関する条例の改正

新中野及び明野のし尿処理施設の維持管理費に不足を生じているため、使用料を値上げしました。

邑楽町公共下水道条例の改正

下水道施設等の設置管理基準を新たに設けました。

邑楽町議会委員会条例の改正

地方自治法の改正に伴い、法律で定めていた委員会に関する事項を条例に定めました。

邑楽町議会会議規則の改正

地方自治法の改正に伴い、本会議においても公聴会の開催、参考人の招致を行うことができる規定を追加しました。

【専決処分の承認】

専決処分の承認（平成24年度邑楽町一般会計補正予算）

専決処分された補正予算について、承認しました。

【財産の譲渡】

邑楽町大字中野字大根村１３１０番地７他４筆の土地

自治会の公民館用地として地域振興に活用するため、第10区自治会に無償譲渡しました。

【契約締結事項の変更】

邑楽町民体育館耐震補強・改修等工事

契約金額（消費税込）

１億４４３７万５０００円から１億５５８０万９５００円に変更

（１１４３万４５００円増）

※工事概要

事務室等照明のＬＥＤ化・バスケットボールゴール取り替え

邑楽町武道館耐震改修等工事

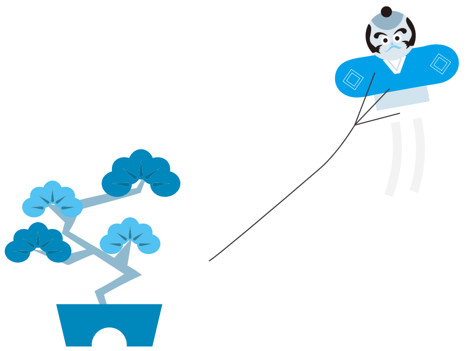
契約金額（消費税込）

６２４７万５０００円から６７３５万７５００円に変更

（４８８万２５００円増）

※工事概要

照明のＬＥＤ化・屋根改修工事等



■平成２４年度補正予算額（専決処分）

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	８１億７，８３１万円	１，１８０万円	８１億９，０１１万円

■平成２４年度補正予算額

会計別		予算現額	補正額	予算総額
一般会計		８１億９，０１１万円	２億４，２９３万円	８４億３，３０４万円
国民健康保険特別会計		２９億２，０３０万円	２億５，７９３万円	３１億７，８２３万円
介護保険特別会計		１６億６，２１７万円	０円（項内での増減）	１６億６，２１７万円
下水道事業特別会計		３億０，４５９万円	５万円	３億０，４６４万円
水道事業	収益的支出	５億１，３９７万円	９万円	５億１，４０６万円
水道事業	資本的支出	２億０，０２１万円	△２０万円	２億０，００１万円

一般質問

一般質問は、12月11日及び12日に行われました。質問には、8人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

町の財政について

岩﨑律夫議員　バランスシートの中身について、売却可能な土地の評価は。また、それ以外の土地の評価は。

総務課長　売却可能な土地は、固定資産税を算定するための評価方法を用いて、それ以外の土地は財産取得価格を計上したものである。

岩﨑律夫議員　出資金4億8900万円のうち、館林厚生病院に4億5200万円出資している。連結決算ではどういう扱いか。

総務課長　連結のバランスシートは、資産合計から負債合計を差し引いた純資産合計がプラスとなっている。

岩﨑律夫議員　町の借金である普通地方債は、平成22年末で54億3800万円ある。このうち交付税で全額措置される臨時財政対策債は幾らで、臨時財政対策債以外で後から交付税措置される見込額は幾らか。

総務課長　臨時財政対策債の残高は31億500万円で、全額が交付税措置される。臨時財政対策債以外のもので交付税措置される額は、試算で14億円である。

岩﨑律夫議員　公営事業の地方債が30億2700万円あるが、このうち交付税で措置される見込み額は。

総務課長　交付税措置額は約10億円である。

岩﨑律夫議員　町の財政の実力について。財政指標としての財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率は財政規模が類似の自治体と比べてどのような位置か。

比較的健全な財政運営を行っている

総務課長　類似団体は全国に41ある。財政力指数は12位で、比較的健全な財政運営を行っている。実質公債費比率8位、地方債残高は少ない方から7位である。

岩﨑律夫議員　町では、15～16億円の中央公民館建設事業計画がある。これを実行したときに、財務状況はどのように変化するか。

総務課長　起債を起こした場合の実質公債費比率の試算では、類似団体の平均10・9パーセントを大幅に下回る低い数値となる。

岩﨑律夫議員　町長は町の財政状況を見て、この件に関してどう対応しようとしているのか聞きたい。

町長　現役世代と将来世代の方々が公平に、安定した考え方で利用し、資金調達をするのが望ましい。

岩﨑律夫議員　分かり易い財務情報提供を要望したい。

総務課長　財務諸表について分かり易く、また経年比較できるものを今後とも努力していきたい。

岩﨑律夫議員　財務諸表から見えること。町では全ての補助金の見直しを計画しており、結構なことだ。数字が広く活用されるようになってほしい。町長に要望がある。厚生病院の医師の招聘について、副管理者の立場で仕事に取り組んでいただきたい。

町長　管理者を中心に、病院長も積極的に大学病院等へ出向き、産婦人科・小児科・整形外科の医師について充実するように進めていきたい。

通学路の安全対策について

神谷長平議員　町内には国道・県道・町道等がある。歩道整備率は、国道122号線が92パーセント、354号線が91パーセントの状況である。県道は6路線で延長は2万1788メートルある。平均で55パーセントの整備率であるが、足利邑楽行田線は延長5055メートルで、歩道の設置は32パーセントと整備の遅れが目立つ。狸塚交差点から北へ150メートル位は整備

済だが、その先集落地内の区間が未整備である。歩行者の安全確保のため、早急に事業着手するよう県に働きかけていただきたい。

町長　狸塚交差点での部分について地元の方々を中心に県に要望している。私からもまたお願いに行きたい。

神谷長平議員　町の管理道路中、町道1級幹線は11路線2万7716メートルで、うち68パーセントが整備されている。町道2級幹線は26路線3万2689メートルで整備率は27パーセント。全体の約4分の1と低い整備状況である。特に通学路に指定されている道路の整備が急務と思う。また町の核形成を図る上で新たな道路の整備が必要と思われる。役場庁舎の移転により町道幹線5号線は年々交通量が増えている。幹線19号線の道路工事が完了すると、国道122号線から19号へ来て、緑ケ丘公園の交差点から、5号線を利用して公共施設に訪れる車両の増大が見込まれる。この道路は通学路に指定されている。現道は歩道がないので、児童の安全を確保するために足利邑楽行田線、「役場入り口」の交差点から東へ、明野住宅団地までの間に歩道の設置が必要と思われるが。

町長　5号線の整備は道路幅員の拡幅も含めて、地元の協力をいただかなければならない。県や国に要望しできるだけ早く整備ができるように努めていきたい。

西ノ根集会所北の交差点

神谷長平議員　児童の通学安全確保のため、第24区からは県道矢島大泉線西ノ根集会所北の交差点、第26区からは県道足利赤岩線大信寺南西の交差点に信号機設置の要望がされたと聞いている。県道矢島大泉線は、平成22年の交通量調査の結果では、小型車6507台、大型車1128台、計7635台の交通量がある。また、県道足利赤岩線は小型車4366台、大型車1452台、計5818台の交通量がある。この道路については、篠塚駅方面へは道路がカーブをしており見通せる範囲が狭い。県道にも歩道がなく危険度が高い状況である。児童の通学安全や地域の人々の日常生活に支障のないよう、信号機の設置が必要では。

信号機の早急な設置を要望

町長　学校・地区・PTAの方々から信号機の新設要望書をいただき、24年6月15日に大泉警察署長宛てにお願いした経緯がある。警察署の信号機設置予算が大変少ない状況だが、早急な設置について要望したい。

その他の一般質問

・高齢者の福祉対策について

中央公民館建設検討討議資料について

小島幸典議員　中央公民館建設については、私は何回も邑楽町公民館を利用すべきと提案してきた。町長は、3月予算で小さく、6万8000円の予算を組んできた。5年～6年積立て、建設資金ができてから着工計画を立てることが普通で、財政調整基金を使うなんて暴挙だ。公約では、「町民の貴重な税金を大切に効率よく活用します」と出している。箱物はお金が回転せず、どんどん出るのが普通だ。検討委員会にランニン

グコストを提示し、国と県の補助金は幾らですと提示したか。

副町長　補助金は付かないので、起債・基金・一般財源等を活用して造ることを検討委員会に提示した。

小島幸典議員　補助金無しと資料の中に入れないと、本当の討議にならない。エレベーター一つ付けても、点検料だけで一カ月約４万５０００円前後かかる。人件費・設備費・管理費等ランニングコストを載せないと全然わからず、賛成となった場合、管理費も人件費も、町民の税金を使うことになる。これからの子供たち、孫たちに管理費を負担させることになる。これから福祉にお金がかかる時代である。ランニングコストを積算し、検討委員会に提示してもらいたい

副町長　建物の費用以外にランニングコストはもちろんかかる。建物の規模や各部屋の大きさ等のつくり方で違ってくる。人件費も今の社会教育現場の職員を中央公民館一館に集めても、大きくは減らせないと思う。今、検討委員会では、どういう施設が必要で求められているかの議論は行っていない。これからホールの大きさや工芸室等の具体的な話を詰めていく中、全体の大きさ等が出た段階で、ランニングコストについては生涯学習課に指示したいと考えている。

小島幸典議員　ものをつくるには、大枠の人件費・設備費・管理費を出しておかなければ、執行者主導になる。今の邑楽町公民館で何が不自由か、不足しているかを全部列記し、また、年間の使用日数と入館人数、収入見積もり、そういう目標がなければどのぐらいの規模でどういう経費がかかるのか分からない。入館料は受益者負担か公費負担か、どう考えているか。

副町長　中央公民館ができた場合の開館日数は、３０５日ぐらいである。受益者負担については、体育施設関係は電気代ということで、使用料をいただいている。今後、受益者負担も慎重に検討していきたい。

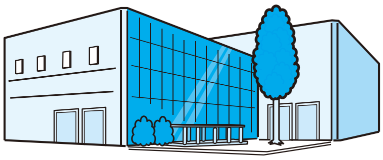
小島幸典議員　ランニングコストの削減を検討委員会で検討し、全員協議会の中で報告願いたい。町長は情報の公開を約束している。

重要な提案

副町長　大変重要な提案なので、検討させていただく。

その他の一般質問

・子育て支援の推進強化を
・老人福祉センター寿荘の改築改造を



休憩室
REST ROOM

子の思い・親の想い

大澤　真一
（前瀬戸宿・8区）

32歳で結婚し、その一年後には女の子が誕生しました。「あーこの世に天使って実在するんだな。可愛すぎて食べちゃいたい」と思うようになり、自分の命より大切なもの、守りたいものってできるんだなと実感しました。同時に、父親になり、子育ての大変さを知り、親の偉大さを強く感じました。

　自分を振り返ると、結婚寸前まで反抗的な態度で、親にしか威張ることのできなかった自分、情けなく思います。

　今だから言えます。お父さん、お母さん、こんな俺を一生懸命育ててくれて本当にありがとう。これからは孫を連れて、親孝行するね。

活力とにぎわいのある産業活動について

坂井孝次議員　町を元気にするには、商業の活性化を図ることが必要だ。幸いこの邑楽町第五次総合計画後期基本計画の中に「大規模店舗の計画的な立地誘導を図るため、既存商店の連携強化、新規出店などを総合的に進めていくことで商業の活性化を図ることが必要である」と書いてある。町は大規模商業施設が必要だと考えているのか。

町長　現に大型施設等も立地されているので、当然必要であると思っている。

坂井孝次議員　広域幹線道路国道354号線が間もなく全線開通する。邑楽町が単なる通過地区になるのではと危惧しているが、町長はどう思うか。

町長　現在の状況では、質問のとおりと思っている。

坂井孝次議員　そういう懸念が既にあるとの自覚だが、対応を考えているのか。

町長　質問の地域は、いわゆる沿道でのサービス業が立地されている。そこに大型商業施設となると、町としての計画が必要になり、地域の利害関係者の同意が必要になる。町への要望ということも必要になると思っている。

坂井孝次議員　平成23年3月に狸塚地区国道354号線沿線関係者からの開発についての陳情書が出ている。町としてどのような回答をしたのか。

町長　回答はしていない。なぜかという話にもなるが、14年にわたって陳情されていたが進んでいなかった。このような事を踏まえ「無理だろう」ということの中から回答していなかった。

坂井孝次議員　無理なら無理と話をしたらいいと思う。14年間もほったらかしにしておくということは、良いことではない。私は、大型商業施設が町に来ると雇用が確保され、町税も期待できると思っている。一番大事な事は、町に住んでいる人たちが良かったと言うことだと思う。本町のイメージは農村だ。農業中心の町では、本当に活力のある産業活動にはつながらないと思うがどうか。

町長　陳情の地区は沿道と言う立地なので、20ヘクタールの同意が得られるかどうかも課題の一つだ。また、環境整備の資金面も大きな課題だ。

坂井孝次議員　20ヘクタール以上の同意を得る努力をしたのか。

現時点では難しい

町長　これは、行政とその利害関係者の一体的な考え方になってくる。過去14年間、このような形で集積が

休憩室
REST ROOM

人生経験をふり返る

冨田かつ子
（石打・20区）

邑楽町に嫁いで、47年という月日が流れ、長かった様でもあり、短かった様にも思われます。

私の第二の人生の始まりです。長男・長女が生まれ、愛育会に入会。保健婦さんのアドバイスを受けながら子育てに励みました。

長男が中学校に入学した時は、大変な時期でした。PTA役員になり、校長室で夜遅くまで話し合った事もありました。卒業式の日には、パトカーが待機する程でした。その時の子ども達も立派に育ち、子育てに励んでいる事と思います。

婦人消防隊に入り、粉雪の舞う出初式に参加し、全国大会のスケールの大きさに、夜も眠れない時もありました。婦人会での八木節練習や運動会で走り回った事が、思い出されます。

今は草花を観る事やカラオケが大好きで、施設訪問があと何年できるか。私の人生に助言して下さった方々に、感謝と御礼の日々です。

図られなかったということを考えたときに、現時点の考えは、難しいと思っている。流れの変遷の中で「そういった状況も出てくるだろう」ということは期待したい。

これからの町づくりについて

原　義裕議員　私たち議員及び町長は、町民の皆さんに選ばれ、町の発展を目指し、奉仕するためにここにいる。町長の公約の中で、協働の町づくりとあるが、なぜ、この公約をうたったのか。

町長　町民の皆さんと共に、町づくりをしていく事が、大切と考えた。

原　義裕議員　どのように、協働の町づくりを、町民の皆さんにお願いするのか。

町長　高齢化と少子化の時代を迎え、地域が希薄になっている。お互いを助け合い、皆さんの力を得て、安全安心な、町づくりをしたい。

原　義裕議員　町長が考える、邑楽町の将来の姿・夢を聞きたい。

町長　皆さんが生活していくには、健康な心身が基本だ。生涯学習を通し、生甲斐を持たせることが、私の使命だ。

原　義裕議員　健康で安全な町という気持ちを、持たせることは当然だ。役場職員にも、生甲斐を持たせやりがいのある、仕事をしてもらう事が町長の仕事である。町の活性化について、具体的に聞きたい。

町長　産業振興や文化活動は、活力になるので、頑張っていく。

原　義裕議員　西邑楽土地開発公社は、廃止の方向と明言したが、その後の動きを聞きたい。

町長　その様に回答したが、三町の取り組みのため、存続が必要と考えた。

原　義裕議員　議会の中で、廃止脱退の方向と、町長は答えた。議員の質問は、パフォーマンスにすぎず、適当に答えておけばいいと考えているのか。

町長　決してその様なつもりは無い。公社存続は理事会で承認された経緯がある。

原　義裕議員　町民の知らない公社であって、血税の無駄遣いだ。今後発生し得る町所有の土地については。

町長　町所有地の有効利用・活用について、旧庁舎跡地及び大黒第一住宅団地・久保林住宅団地については、慎重に真剣に考えていく。

原　義裕議員　議会で報告があった、給食センター跡地売却は、土地価格が下落していて、19号線が26年度に整備される。何故、この時期なのか解らない。売却には、断固反対する。

町長　西邑楽土地開発公社の目的は、公用地として先行取得することだ。町所有の土地を公社に売却ということは、研究させて欲しい。

原　義裕議員　邑楽町は農業の町として振興してきたが、今後の町づくりについて、具体的に聞きたい。

町民の皆さんと共に町づくり

町長　今までは、農業を振興するという位置づけが強かった。住宅団地や工業団地の誘致について、県に要望したが招致できていない。市街化区域内の土地利用も進まず、拡大を図るのも困難だ。町民の皆さんと共に町づくりに励みたい。

行財政運営について

本間恵治議員　今年度の税収の見通しは。

町長　税の増収が図られたと思う。

本間恵治議員　滞納額についての見通しは。

町長　年々累積額が、多くなっている。滞納徴収については、協力をいただく中で、少なくなるように努めていきたい。

本間恵治議員　次年度へ向けて、税収の見通しについて、どのように考えているのか。

町長　来年の予算を組み立てる場合、歳入の欠陥が生じないよう、努めていかなければならない。

本間恵治議員　国民健康保険税は、資産割も入っている。弱者救済の立場からす

れば、場所によっては資産割を無くしている。今後いろいろな検討を加えた中で、そのような対応をすべきではないか。

町長　資産割の賦課部分については、検討する余地があると思っている。

本間恵治議員　限られた財源の中で、行政組織や運営全般の総点検を行うと、昨日の答弁で言ったが、具体的にあるのか。

町長　生涯学習課の管轄する施設等の使用料について、実費弁償等については利用者負担、受益者負担ということも必要だろうということで、今、検討している。

本間恵治議員　農用地の除外申請の許可が、2年経過してもまだおりてこない。邑楽郡内の首長がみんな揃って県に打診するとか、陳情するとか、やっていかないと町は衰退の一途になってしまう。

鶉土地区画整理事業

町長　許可が大変遅いではないかという申請者からの意見も大変多くいただいた。実は、県に私自身や副町長も行って、いろいろ話をし、進めているところである。

本間恵治議員　総合計画には、「中央公園周辺を新しい町の核として整備する事業の推進にあわせて商業施設の立地、集積を検討する」とあるがどのような考えか。

町長　都市計画のマスタープランにより、町として進んでいくというような状況で、そのとおりだ。

本間恵治議員　給食センターの跡地を処分するというが、そのお金の使い道は。

町長　売却金額を有効に活用できるように考えていきたい。

本間恵治議員　「鶉土地区画整理事業の早期完成を図る」と言い切っているが、中央公民館に15～16億円も出すとも言われている。今まで鶉土地区画整理事業にかかった費用が、平成23年度末で約15億円である。来年度の予算措置についてどのような考えか聞きたい。

町長　来年度については、住宅の移転補償ということが中心になると思う。平成24年度の予算額以上の数字が上がってくると思われるので、十分対応していきたい。

十分対応していく

その他の一般質問
・教育行政について

邑楽町住宅リフォーム補助金制度について

大野貞夫議員　本年4月1日から施行された制度について、この間の交付状況を説明願いたい。

産業振興課長　本年11月末までの状況は、交付件数が23件、補助金の合計額は、168万4000円になっている。

大野貞夫議員　交付済み件数の総事業費はいくらか。

産業振興課長　合計額は、税金込みで5162万円である。

大野貞夫議員　この交付金額に対しての総工事費を見ると、実に30・65倍という経済効果である。この現状を見て、町長はどのような感想を持っているか。

町長　今後予想される数字を含めて、9月の時点で1070万円程補正を行った経緯から、利用される方々が今後増えていくのではないかと思っている。

大野貞夫議員　町の経済を支えている多くの業者は、

中小零細業者が中核をなしている。大型店舗の導入も必要ではあるが、こうした中小零細業者の活性化なくして、町の発展はあり得ない。今後これを進めていくうえで、これをより拡充していく考えがあるか聞きたい。

町長 近隣の状況を考えたときに、導入されていない町もあるわけで、町としてはこの制度が発足した当初でもあり、また、そのときに検討していくということで、現在のところこの限度額を拡充するという考え方は持っていない。

大野貞夫議員 拡充は考えてないというが、この現状を見た場合、効果は確実に出ていると思う。他町村との比較とも言われたが、それをより増やしていくことによって、利用する件数は多くなると思う。ちなみに、これが施行されてから、町民にどのような周知徹底がなされたか。

制度活用によりリフォームされた台所

産業振興課長 基本的には町の広報やホームページで行った。

大野貞夫議員 この問題について町内をいろいろ歩いてみると、まだ意外と知られていない。もう少しきめ細かく町民に知らせる必要がある。そうすることによって、もっとこの利用率は上がっていくと思うが。

普及に向けての広報活動を

町長 この制度については町内業者に限定されているということもあり、その経済効果は大いにあると思っている。拡充については考えてないと答えたが、新制度が発足したばかりであり、これからの動向も見きわめたうえでということでご理解いただきたい。また、この制度が知られていないということについては、町の商工会の広報等にも掲載をしていただくことが必要だと思う。したがって、これらの普及に向けての広報活動をしていただくようにこれからお願いをしていきたいと思っている。

その他の一般質問

・くらかけ学童保育の移転問題について

役場庁舎2階、町長室の可視化について

小沢泰治議員 現在、町長は2期目であるが、1期目には町長室の開放事業により、多くの町民の意見を聞いて云々という話しがあった。その結果は、平成20年度69人、平成21年度63人、平成22年度24人、平成23年度9人と4年間で延べ165人、52組。複数回、来ている方も相当いた。邑楽町の人口が約2万7500人、全体から見るとそれはほんの一部である。過去のことを聞いて申しわけないが、今でも町長室開放は非常に効果があったと思っているのか聞きたい。

町長 直接、町民の皆さんが思っている意見等をお聞きしたということで、少なからず町政の仕事に反映できていると思っており、効果はあったと思っている。

小沢泰治議員 ほとんどの町民が町長室の場所も知らない。町長室や町長が町民にとって身近になるように、庁舎2階、町長室のオープン化を提案したいと思うが。

現状で十分対応

町長 現状で十分対応できていると思っている。

小沢泰治議員　私は、十分対応ができていないというか、できづらい、しづらい、そういうのが現状だと思う。改めて前を通らなければお話もできない。寄り込むこともできない。ぜひ、来庁者や町民のために何とか考えていただきたい。

町長　私自身は、町民の方にご不便をかけていないと思っている。庁舎を建設して5年であり、お金もかかる。そのようなことをしなくても十分対応できると思う。壁を取り除くという考えもない。

小沢泰治議員　いつも思うのだが、町長、殻を破っていかなければ、邑楽町は人口が減り続けていく。長期計画では、平成27年度には3万人の人口を掲げてある。何とか打開策を立てなければならないと思う。情報発信を町長からもできる体制をつくるのが非常に良いことだと思う。行政についての必要な情報の発信が非常に足りない。町からの町民に対する情報提供を、よりオープンにして、それで客観的に判断して物事を進める。マイナスになることも、プラスになることも情報公開を今以上にしていただきたいと思う。町民あるいは職員すべてが生き生きした生活、それによって邑楽町の人口も増えるし、事業執行も良い具合に向かう。町長の答弁をお願いしたい。

町長　町の行政執行には、一生懸命取り組んでおり、これからもそのような思いで努力をし、町民の皆さんに尽くしていきたいと思う。

その他の一般質問

・太陽光の有効利用で庁舎光熱費の削減を

議会の動き

■11月

4日　館林地区消防組合秋季点検
7日　東毛広域市町村圏振興整備組合議会全員協議会
14日　全国町村議会議長全国大会
16日　大泉町外二町環境衛生施設組合議会先進地視察
27日　議会広報委員会研修
28日　議会運営委員会
　　　東毛広域市町村圏振興整備組合議会
　　　西邑楽土地開発公社理事会
29日　総務教育常任委員会、産業福祉常任委員会
30日　全員協議会

■12月

10日～14日　12月定例会
　　　（本会議、議会運営委員会、各常任委員会
　　　全員協議会、広報委員会）
21日　大泉町外二町環境衛生施設組合議会
26日　邑楽館林医療事務組合議会
28日～31日　消防団歳末警戒の督励

■1月

6日　館林地区消防組合出初め式
7日　広報委員会編集会議
13日　成人式
17日　広報委員会校正会議、新年賀詞交歓会

議会を傍聴しましょう

次の議会は、３月８日から19日を予定しています。

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。

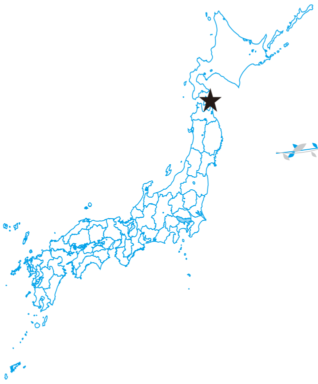
役場庁舎１階ロビーのテレビにおいても、本会議の模様を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録（議事等の経過をそのまま記録したもの）は、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館（長柄公民館）、勤労青少年ホーム（ヤングプラザ）に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL　http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai

詳しくは、議会事務局まで
☎88－5511（内線300）

わたしのふるさと



【青森県むつ市】

大野末吉
（十三坊塚・６区）

尻屋崎灯台と寒立馬

私の故郷は東北最北端、下北半島です。手付かずの自然が魅力で、旅行者も多く心を和ませます。たくさんの名所もあり、下北を一周する旅も近年増えています。

私の育った所は、海に面して前方には北海道が見え、夜ともなるとイカ釣り灯が蛍火のようです。

少し半島を案内します。列車で終点下北駅に到着すると、目の前には釜伏山が迎えてくれます。その裏側には恐山があり、夏場は賑わっています。他にも岩肌が見事な仏が浦は圧巻、最北端に生息する脇野沢村の日本猿、温泉も下風呂温泉や薬研（やげん）温泉が癒してくれます。

漁業も盛んで、むつ湾はホタテ漁、東の突端、大間はマグロです。あまり知られていない西の突端、尻屋崎の丘に何頭か放牧されている馬は、寒いところに立つ馬と書いて寒立馬（かんだちめ）とよびます。

この時期、厳しい試練が彼らを待ち受けます。津軽海峡からの打ち上げる猛烈な地吹雪と極寒。誰も手を貸してはくれません。極限の寒さに挑む姿には、誰人も感動を覚える冬の風物詩です。ぜひ足を運んでは。

編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は、長引く景気の低迷や尖閣諸島問題、北朝鮮のミサイル発射問題、そして国政選挙と慌ただしい年でもありました。今年は景気が回復し、元気な年になりますよう願っています。

さて、昨年12月10日から14日までの５日間、平成24年第４回定例会が開かれ、地方自治法の改正に伴う条例の一部改正や平成24年度各事業の補正予算等の表決がなされました。また、一般質問では８人の議員から町執行部に対し、行政運営について熱心な議論が交わされました。

今後も議会の様子を正確に分かり易くお伝えし、町民の皆様にご愛読いただけるより良い議会広報誌づくりを目指し、広報委員一同努めてまいります。これからもご意見ご要望を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（神谷記）

■発行　群馬県邑楽町議会　■発行人　議会議長　立沢稔夫
■編集　邑楽町議会広報委員会　群馬県邑楽郡邑楽町大字中野2570-1　TEL0276-88-5511（内線300）
《皆様の意見、ご要望など議会広報委員会までお寄せください。点訳版をご希望の方は、ご連絡ください。》